

款	項	目	目名	予算額 (千円)	決算額 (千円)	決算書の頁
10	1	1	教育委員会費	284万2	250万9	330～333

【教育総務課】

○教育委員会

■定例教育委員会を12回、臨時教育委員会を1回開催した。定例教育委員会のうち5回は、傍聴者に配慮して公民館等で開催した。(森岳公民館1回、有明公民館1回、外港庁舎2回、杉谷公民館1回)

【議案審議の状況】

区分	教育委員会開催回数		議案件数
	定例会	臨時会	
件数	12回	1回	62件



▲ 教育委員会の審議風景

■教育委員の自己研鑽として、研修会への参加及び視察研修を行った。

・長崎県市町村教育委員会連絡協議会主催の市町教育委員合同研修会(5月22日・大村市)に参加し情報収集に努めた。また、11月17日開催の長崎県市町村教育委員会研究大会(対馬市)に参加し、分科会ごとのテーマに沿って各市町教育委員と意見交換を行った。



・8月3日宮崎市で開催された九州地区市町村教育委員研修大会に出席して、九州各県の市町村教育委員との情報交換を図るとともに、教育行政の充実・発展に寄与するため資質を高めた。

■教育委員の活動状況

平成29年度においては、教育委員会や総合教育会議などの各種会議、運動会、学校経営訪問及び各種式典等への参加など、年間で50回を超える活動を行った。

款	項	目	目名	予算額(千円)	決算額(千円)	決算書の頁
10	1	2	事務局費	3億0万3	2億9,009万8	332~339

【学校教育課】

○北村西望賞教育美術展 70万8千円

名誉市民故北村西望氏を顕彰し、市内小・中学校児童生徒の美術教育振興に資するため、北村西望賞教育美術展(第39回目)を開催した。平面の部及び立体の部 出品数273点
・北村西望賞、奨励賞授賞状況

	小学校		中学校	
	西望賞	奨励賞	西望賞	奨励賞
平面の部	2人	6人	1人	3人
立体の部	2人	6人	1人	3人



「うみ」 牧本はな(三会小)



「蟹」 本田夕季(高野小)



「ミサガの世界」 松永ユリ(第三中)



「がんばったよ、はじめての運動会」 草野愛佳(第二小)



「伝説の鳥」 村田智志(大三東小)



「鳳凰」 寺田芽生(第三中)

○島原市・豊後高田市兄弟校児童会交流事業 80万円

島原市・豊後高田市の兄弟都市の交流を更に深め、両市小学生の活力を生む豊かな児童会交流を継続的に行い、21世紀の郷土を担う青少年の育成を目指すことを目的として、市内小学生29人が豊後高田市を訪問した。児童は、各兄弟校・交流校の児童宅にホームステイし、各校での学校行事に参加したり、豊後高田市内の視察をしたりすることから、互いの交流を深めることができた。

- ・参加者 児童代表 三会小・大三東小4人 その他の学校3人 計29人
- PTA代表 2人
- 引率者（教育長 学校教育課4人 校長9人 教諭・養護教諭10人）



○小・中学校学力向上対策事業 540万2千円

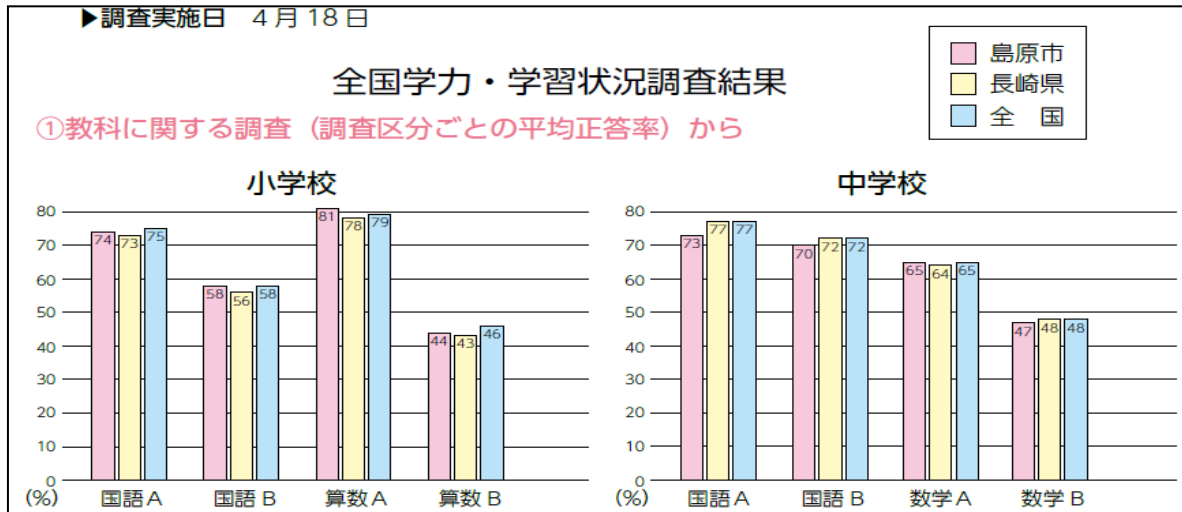
全国学力・学習状況調査及び県学力調査に加え、学力の新たな検証軸として市独自の学力調査を実施することにより、児童生徒の学力の定着状況を把握・分析し、学力向上に向けての取組の一層の充実を図ったり、習熟度に応じた個別対応を図ったりするために実施した。

また、教職員の授業力改善を図るために教育講演会、先進地視察を実施した。

成果として、下記の事項があげられる。

- ・全国学力・学習状況調査及び県学力調査の前学年において市学力調査を実施したことで、市全体また学校別の学力の定着状況、課題を把握することができた。
- ・全国学力・学習状況調査においては、小学校算数Aが4年連続全国平均を上回った。
- ・小学校国語Bの平均正答率は全国平均、県平均を上回った。
- ・中学校数学Aの平均正答率は全国平均、県平均を上回った。

▶調査実施日 4月18日



- ・明確になった課題の改善に向けて、個に応じた学習に取り組むことができた。
- ・授業改善のための先進地・先進校の取組を知ることができた。

具体的実践事項

- ・市学力調査実施
小2～小4・中1、中2…国語、算数、数学、英語
- ・問題データベースの導入
小学校…国語・算数、理科、社会
中学校…国語・数学、英語
- ・島原市教育講演会への講師招聘
慶應義塾大学総合政策学部 准教授 中室 牧子 氏
- ・先進地視察 1月29日～1月31日
秋田県東成瀬村立東成瀬小学校・中学校…指導主事、教頭、教諭等 9人
- ・NIE 実践指定
長崎県NIE 実践指定を受け、公開授業を行った。 12月11日（月）

学校名	研究テーマ	備考
第三中学校	確かな学力と道徳的実践力を高める教育活動を通して (NIE)	28～29年度 2年目

○外国語指導助手招致事業 1722万5千円

現代社会の国際化に対応できる児童・生徒の育成を目的に、外国語指導助手を招致し、中学校では週に2～3回、小学校では週に1回程度外国語指導助手との授業を実施した。

小学校においては英語への興味・関心が高まり、中学校においては積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度が育った。また、月1回ALT研修会を開催し、指導力の向上に努めた。

- ・外国語指導助手 4人

配置校	訪問校	任期
第一中学校	第一小学校、第四小学校、高野小学校	2017. 8. 3～2018. 8. 2
第二中学校	第二小学校、第三小学校、第五小学校	2017. 8. 1～2018. 7. 31
三会中学校	第三中学校、三会小学校	2017. 8. 1～2018. 7. 31
有明中学校	大三東小学校、湯江小学校	2017. 7. 31～2018. 7. 30

○中学生海外訪問交流事業 347万8千円

将来の島原市を担う心身ともにたくましい人材の育成を目指し、本市中学生に、夏季休業中を活用した海外の教育関係施設の見学及び現地中学生との交流活動を体験させ、国際的視野の拡大と国際親善に努める素地を培うことを目的とし、英語圏であり、学力では世界のトップクラスである香港を訪問地とした。経費の一部には参加生徒の保護者負担（3万円×15人）、長崎県市町村振興協会の国際交流支援事業補助金（186万9千円）を活用した。また、今年度は在香港日本国総領事館と日清食品を訪問した。訪問した生徒は、本事業を自身の今後の目標や進路に活かしていくことを述べている。

- ・参加者 市内中学3年生代表
第一中3人、第二中3人、第三中3人、三会中2人、有明中4人 計15人
引率者（教育次長 学校教育課1人 教諭2人）



○不登校児童生徒適応指導事業 224万3千円

心理的又は情緒的理由により登校できない状況にある児童生徒に対し、個別や小集団での相談・指導を行いながら、学校への復帰を目指し、集団生活に適応する力を育てる。

- ・心理的又は情緒的理由により、登校できない状態にある児童生徒に対して、学校への復帰や適応指導教室での学習の援助を行った。

- ・適応指導教室「ひまわり教室」 島原市北門町130番地

相談員数 2人

開室日 毎週月曜日から金曜日までの週5日

開室時間 午前9時30分～午後3時30分

活動内容 ①児童生徒に対する支援 ②保護者への支援 ③在籍校への支援

平成29年度 不登校児童生徒数	小学校	6人
	中学校	26人
	計	32人

平成29年度 ひまわり教室通級者数	小学校	3人
	中学校	3人
	計	6人

・不登校児童生徒数の推移

区 分		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
小学校	人数(人)	7	2	6	4	6
	割合(%)	0.28	0.08	0.25	0.13	0.26
中学校	人数(人)	25	29	28	24	26
	割合(%)	1.78	2.05	2.17	1.88	2.30
人数計(人)		32	31	34	28	32

(不登校とは、外傷病気等ではなく年間30日以上欠席があったもの)

款	項	目	目名	予算額 (千円)	決算額 (千円)	決算書の頁
10	2	1	学校管理費	1億3,044万6	1億2,496万5	338~343

【教育総務課】

○学校管理備品購入費 649万4千円

児童用の机・イスなどの器具を整備し、学校教育のよりよい環境づくりに努めた。

【備品購入の内訳】

(単位：千円)

品目	学校名	金額
児童用机・イス	一小・三小・四小	2,387
行事用備品	二小・高野小	200
学校家具類	二小・三小・四小・三会小 ・長貫分校・湯江小	899
ポスタープリンター	大三東小	274
パソコン	三会小	232
特別支援学級用	二小・四小・三会小・湯江小	1,300
その他		1,202

○校庭芝生化事業 25万1千円

- ・事業目的 児童の健全な育成と地域密着の交流拠点として学校校庭の芝生化を造成する。第四小学校をモデル校として地元住民が主体となり校庭の低コスト・低管理のエコ芝生化に取り組んだ。
- ・実施小学校 第四小学校
- ・活動場所 第四小学校運動場
- ・活動内容 芝が剥がれている箇所の苗移植作業、施肥、芝刈、水やり、除草作業等



款	項	目	目名	予算額 (千円)	決算額 (千円)	決算書の頁
10	2	2	教育振興費	7,647万4	7,242万2	342~349

【教育総務課】

○教育振興備品購入費 139万6千円

教育振興のために楽器等の音楽用備品を購入するとともに、科学的な知識等の習得や工夫創造の能力を養うため理科教育機械器具を購入して学校教育のよりよい環境づくりに努めた。

【備品購入の内訳】

(単位：千円)

品 目	学 校 名	金 額
音楽用備品 (楽器等)	一小・二小	512
顕微鏡、実験用具等 (理科振興備品)	大三東小・高野小・湯江小	884

【学校教育課】

○野外宿泊学習事業 (小学校) 91万4千円

自然に親しませ、豊かな社会性と心身の訓練を培うため実施した。

集団行動を通して友情を深め、寝食を共にすることで、規律・協力・連帯等の望ましい在り方を学ばせる好機となった。

- ・実施小学校 全9校
- ・活動場所 長崎県立千々石少年自然の家 一小、三小
国立諫早少年自然の家 二小、四小、五小、三会小、大三東小、高野小、湯江小
- ・日 程 1泊2日 一小、三小、三会小、大三東小、高野小、湯江小
2泊3日 二小、四小、五小
- ・活動内容 ナイトハイキング、オリエンテーリング、野外炊飯、焼き板づくり、課題解決ラリー、沢歩き、フィールドアスレチック、追跡ハイキング、星空ウォッチング等

○学校司書配置事業 (小学校) 597万2千円

学校図書館の環境整備の充実や、児童の読書活動の推進を図るために全小学校に学校司書を配置した。その結果、貸し出し冊数、レファレンス (図書・資料の紹介・提供) 数が増える等、図書館教育の充実を図ることができた。

- ・各小学校に学校司書を1人配置 (計9人)
- ・1日6時間の週3日配置

貸し出し冊数(1人平均)推移 (H26) →(H27) →(H28)→ (H29)

160.7	160.7	170.4	173.6
-------	-------	-------	-------

○学習支援員事業 712万3千円

小学校においては、普通学級に在籍している児童のうち、教育上特別な支援を必要とする障害のある児童に対して、学校生活上の介助や学習活動上の支援を行った。その結果、発達障害を含む障害のある児童の一人一人の教育的ニーズに応じた支援を行うことができた。

- ・ 小学校7校に支援員を1人、小学校2校に2人配置（計11人）
- ・ 1日5時間の週5日配置

○幼児ことばの教室設置事業 85万3千円

言葉に障害のある幼児の心身の健やかな成長をめざすため、指導及び相談を行い、障害の改善及び克服を行った。

- ・ 第二小学校に支援員を1人配置
- ・ 概ね週4日かつ半日を基本とし相談業務及び学校の実態に応じた業務を行った。

○指定研究校補助金 105万円

毎年、小学校の4～5校程度を研究校に指定している。指定を受けた学校は、自校の課題や実情に応じた研究テーマを設定し、最終年度に研究成果を発表している。

- ・ 1つのテーマに沿って学校単位で3年間研究に取り組むことをとおして教師の指導力や授業力の向上を図ることができた。
- ・ 学校訪問や研究授業における指導助言等と相まって、成果を上げることができた。

平成29年度小学校研究指定校（5校）

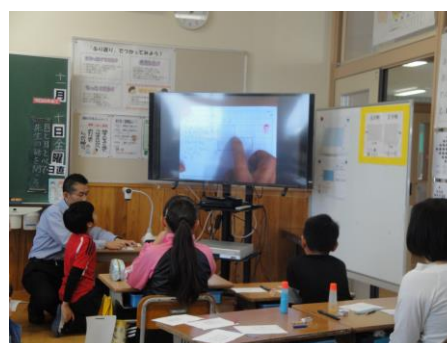
学校名	研究テーマ	備考
第二小学校	「文章を正しく読み取り、自分の思いを分かりやすく伝える子どもの育成」 (国語科)	27～29年度 3年目
第三小学校	「すべての児童が「分かる・できる」喜びを実感できる国語科の授業を目指して」 (国語科)	28～30年度 2年目
三会小学校	「豊かなかかわり合いを通して、よりよく生きようとする児童の育成」(特別の教科 道徳)	29～31年度 1年目
大三東小学校	「確かな読み取りをもとに考え、生き生きと伝え合う子どもの育成」 (国語科)	28～30年度 2年目
高野小学校	「思考力・判断力・表現力を身に付けた児童の育成」 (国語科)	29～31年度 1年目

【教育総務課】

○ICT推進事業経費 363万2千円

情報通信技術（ICT）の活用を通して教育の質の向上を図るため、書画カメラ（実物投影機）を購入した（小学校3台）。

また、教職員の校務の効率化を図るため、校務用パソコンを更新した（小学校30台）。



○就学援助費 2,448万1千円

経済的理由により就学困難な児童の保護者に対して、学用品費等の援助を行った。

また、従来、小学校入学後に支給していた新入学用品費については、平成29年度から入学予定者の保護者に対して、入学前に支給を行った。

・学用品費	432件	798万8千円
うち新入学用品費（4月支給）	48件	194万9千円
うち新入学用品費（入学前支給）	43件	174万6千円
・社会科見学活動費	50件	12万8千円
・校外活動費	48件	10万8千円
・修学旅行費	59件	119万8千円
・医療費	163件	84万8千円
・学校給食費	344件	1,415万8千円
・通学費	1件	5万3千円

準要保護状況

		29年度	28年度
認定者数	小学校	337人	316人
	中学校	192人	208人
	計	529人	524人
認定率	小学校	14.61%	13.90%
	中学校	16.95%	16.26%
	計	15.38%	14.75%

(小学校合計額)

品目	金額 (千円)	一人当たり (円/年)
学用品費	4,293	12,592
新入学用品費	3,695	40,600
社会科見学活動費	128	2,568
校外活動費	108	2,262
修学旅行費	1,198	20,299
医療費	848	5,200
学校給食費	14,158	41,157
通学費	53	52,690
計	24,481	—

款	項	目	目名	予算額 (千円)	決算額 (千円)	決算書の頁
10	2	3	学校整備費	1億8,968万0	1億7,783万3	348~351

【教育総務課】

○工事請負費 1,320万9千円

緊急度を考え計画的に小学校施設の整備充実に努めた。

主な工事請負費内容

(単位:千円)

学校名	工事名称	金額
第一小学校	第2校舎普通教室床張替工事	2,808
	第2校舎普通教室ベランダ側出入口サッシ取替	864
	第1音楽室カーペット張替	1,514
第二小学校	体育館横階段エノキ抜根後原型復旧工事	1,080
	プール周囲フェンス取替工事	562
第五小学校	第2棟教室廊下側棚修繕	1,560
大三東小学校	洋式トイレ設置工事	1,332
	自動火災報知設備改修	1,185
	2階渡り廊下防水改修工事	1,096

<第五小学校第2棟教室廊下側棚修繕>



(着工前)



(完成)

○降灰防除事業 2,434万2千円

・現在設置してあるエアコンは、普賢岳噴火災害時に降灰対策として設置されたもので、設置後25年余りが経過しており、老朽化し稼働していない機体も多い。また、交換用部品も既に製造中止となっており、修理も対応できない状況となっている。このため、年次計画により更新を進める予定であり、平成29年度では三会小学校のエアコン27台の更新を行い児童の学習環境の整備・充実に努めた。

- ・設備設計業務委託 115万6千円
- ・エアコン更新工事 2,318万6千円

<三会小学校校舎エアコン更新工事>



(着工前)



(完成)

○非構造部材耐震化事業 1億2,496万3千円

- ・小・中学校の校舎・体育館の構造体（躯体）の耐震補強工事は平成24年度で完了し、体育館については、非構造部材の耐震化も平成27年度で完了している。今後は、外壁や天井材等の非構造部材の耐震化を進める予定であり、平成29年度は三会小学校校舎2棟の外壁改修工事に取り組んだ。

※ 小・中学校の構造体（躯体）の耐震化状況（平成30年4月1日現在）

区 分		小学校	中学校	計	県内	全国
耐震化率	28年度	100.0%	100.0%	100.0%	98.3%	98.8%
	29年度	100.0%	100.0%	100.0%	—	—

<三会小学校外壁改修工事>



(着工前)



(完成)



(着工前)



(完成)

款	項	目	目名	予算額 (千円)	決算額 (千円)	決算書の頁
10	3	1	学校管理費	8,406万8	8,094万9	350～355

【教育総務課】

○各種施設管理委託料 840万4千円

校舎監視業務委託をはじめ、各種法定管理委託業務等により、施設の維持管理と安全に努めた。

○学校管理備品購入費 321万2千円

学校用の家具、備品などの器具を整備し、学校教育のよりよい環境づくりに努めた。

【備品購入費の内訳】

(単位:千円)

品名	学校名	金額
学校家具類	三会中・有明中	905
行事用備品	二中	259
図書室椅子	三中	583
特別支援学級用	一中・有明中	349
パソコン	二中	232
その他		884

款	項	目	目名	予算額(千円)	決算額(千円)	決算書の頁
10	3	2	教育振興費	6,150万3	5,706万2	354~359

【教育総務課】

○教育振興備品購入費 163万1千円

教育振興のために楽器や体育用品等を購入するとともに、科学的な知識等の習得や工夫創造の能力を養うため理科教育機械器具を購入して学校教育のよりよい環境づくりに努めた。

【備品購入の内訳】

(単位：千円)

品目	学校名	金額
音楽用備品(楽器等)	一中・二中	754
体育用品	二中・有明中	301
超短焦点プロジェクター 実験用具等 (理科振興備品)	一中・二中	576

【学校教育課】

○野外宿泊学習事業 90万7千円

自然に親しませ、豊かな社会性と心身の訓練を培うため実施した。

集団行動を通して友情を深め、寝食を共にすることで、規律・協力・連帯等の望ましい在り方を学ばせる好機となった。

- ・実施中学校 全5校
- ・活動場所 県立千々石少年自然の家 一中、二中、三中、三会中、有明中
- ・日程 1泊2日
- ・活動内容 星空ウォッチング、キャンプファイヤー、野外炊飯 等

○学校司書配置事業(中学校) 331万円

学校図書館の環境整備の充実や、生徒の読書活動の推進を図るために全中学校に学校司書を配置した。その結果、貸し出し冊数や入室者数、レファレンス(図書・資料の紹介・提供)数が増える等、図書館教育の充実を図ることができた。

- ・各中学校に学校司書を1人配置(計5人)
- ・1日6時間の週3日配置

貸し出し冊数(1人平均)推移 (H26) → (H27) → (H28) → (H29)

16.4 20.1 21.0 23.8

○学習支援員事業 376万3千円

中学校において、普通学級に在籍している生徒のうち、教育上特別な支援を必要とする障害のある生徒に対して、学校生活上の介助や学習活動上の支援を行った。その結果、発達障害を含む障害のある生徒の一人一人の教育的ニーズに応じた支援を行うことができた。

- ・中学校4校に支援員を1人配置、中学校1校に支援員を2人配置(計6人)
- ・1日5時間の週5日配置

○中高教育交流事業 8万円

「^{いのち}生命」の教育の施策の一つとして、三会中学校と島原農業高校との交流事業を実施した。羊の飼育から試食までを一貫して生徒の体験活動を実施することで、本市教育の基盤である『生命・きずな・感謝の心』の具現化を図ることができた。

6月から8月まで約2ヶ月の間、生徒たちは不慣れではあるが一生懸命に愛情をこめて羊のお世話をした。羊の毛刈り体験や餌やりなど、動物の飼育を経験するとともに、自分たちが飼育した羊の肉を使った調理実習を行うことで、「生命」の温もりを感じ取り、「生命」に対する感謝の心を育むことができた。



○心の教室相談事業 344万6千円

学校において、生徒が悩み等を気軽に話せ、ストレスを和らげることのできる第三者的な存在である「心の相談員」を生徒の身近に配置し、生徒や保護者の悩みを聞くなどの相談活動を実施し、生徒がゆとりを持てるような環境を提供した。

(相談員の職務)

- ・生徒の悩み相談や話し相手、家庭訪問等を実施し、学校における教育相談を行う。
- ・地域における情報収集、地域と学校の連携及び支援を行う。
- ・その他、学校教育活動の支援を行う。

(心の教室相談員 配置数)

- ・各中学校に1名ずつ配置

(相談者数の推移)

区 分		27年度	28年度	29年度
1年	男	57	164	251
	女	206	103	77
2年	男	203	111	678
	女	218	254	318
3年	男	143	377	56
	女	589	470	339
人数計(人)		1,416	1,479	1,719

- ・心の教室相談員等連絡協議会を2回開催した。

○指定研究校補助金 42万円

毎年、中学校の2～3校程度を研究校に指定している。指定を受けた学校は、自校の実情に応じた研究テーマを設定し、最終年度に研究成果を発表している。

- ・1つのテーマに沿って3年間学校単位で研究に取り組むことで教師の指導力や授業力の向上を図ることができた。
- ・学校訪問や研究授業における指導助言等と相まって成果を上げることができた。

平成29年度中学校研究指定校（2校）

学校名	研究テーマ	備考
第三中学校	互いを認め尊重し合う生徒の育成 (学力向上)	29～31年度 1年目
有明中学校	「確かな学力」の育成を図る学習指導の 在り方 (学力向上)	27～29年度 3年目

【教育総務課】

○ICT推進事業経費 321万6千円

情報通信技術（ICT）の活用を通して教育の質の向上を図るため、書画カメラ（実物投影機）を購入した（中学校18台）。また、教職員の校務の効率化を図るため、校務用パソコンを更新した（中学校20台）。



○就学援助費 2,305万5千円

経済的理由により就学困難な生徒の保護者に対して、学用品費等の援助を行った。

また、従来、中学校入学後に支給していた新入学用品費については、平成29年度から入学予定者の保護者に対して、入学前に支給を行った。

・学用品費	304件	967万7千円
うち新入学用品費（4月支給）	52件	246万5千円
うち新入学用品費（入学前支給）	59件	279万7千円
・校外活動費	38件	8万6千円
・修学旅行費	76件	373万9千円
・医療費	54件	35万4千円
・学校給食費	209件	919万9千円

(中学校合計額)

品目	金額(千円)	一人当たり (円/年)
学用品費	4,416	22,879
新入学用品費	5,261	47,400
社会科見学活動費	—	—
校外活動費	86	2,279
修学旅行費	3,739	49,198
医療費	354	6,549
学校給食費	9,199	44,013
通学費	—	—
計	23,055	—

款	項	目	目名	予算額(千円)	決算額(千円)	決算書の頁
10	3	3	学校整備費	3,610万0	3,431万1	358～359

【教育総務課】**○工事請負費 2,754万9千円**

緊急度を考慮し計画的に中学校施設の整備充実に努めた。

工事請負費内容

(単位：千円)

学校名	工事名称	金額
第一中学校	第2音楽室床改修工事	2,408
第二中学校	職員室棟屋上防水改修工事	11,119
	テニス支柱撤去・設置	274
第三中学校	放送設備取替工事	2,987
	普通教室エアコン取替工事	1,563
三会中学校	放送設備改修工事	1,619
	渡り廊下改修	994
	運動場南壁石垣改修	2,200
有明中学校	職員室雨漏り修繕工事	1,346
	高架水槽設置工事	3,039

<第二中学校 職員室棟屋上防水改修工事>



(着工前)



(完成)

款	項	目	目名	予算額 (千円)	決算額 (千円)	決算書の頁
10	4	1	社会教育総務費	1億5,629万5	1億4,335万2	358~375

【社会教育課】

○市民文化講座経費 2万円

市民の文化に関する教養の向上と興味関心を高めるために開催した。

第212回市民文化講座「近世における歴史資料の伝来と社会」	参加者数 54人
-------------------------------	----------

○梅林俳句会経費 1万1千円

市民文化向上のために開催した。

参加者数	41人
------	-----

<市美術展>

○市美術展経費 40万3千円

市民の鑑賞と美術活動の普及のために開催した。

出品者数	287人
出品点数	481点
入場者数	1,498人



○自主事業運営経費 545万9千円

芸術性の高い優れた舞台芸術や人気アーティスト等に接する機会を設けるため、公演事業を実施し、市民の文化の向上に努めた。また、子どもたちに文化体験の機会を設けるため、通年で「肥前島原子ども狂言」を開催した。

- ・舞台芸術鑑賞事業

公演名	入場者数
草野仁講演会(島原文化会館)	704人
未来の音楽授業!アキラ塾(有明総合文化会館)	470人

・「公募型」事業

公演名	入場者数
四郎幻想ふたび（島原文化会館）	223人

・体験型事業

名称	参加者数
肥前島原子ども狂言（5月～10月、計12回）	37人



○市民音楽祭経費 116万8千円

本市における音楽の普及向上を図るために開催した。

部門	入場者数
洋楽の部	690人
小中学生の部	2,773人
邦楽の部	478人

○コミュニティ助成事業助成金 830万円

才木自治会が地域住民の親睦と福祉の増進を図り、住みよい環境をつくるために建設する、コミュニティセンター建設事業に対し助成した。

○文化財経費 1,257万7千円

指定文化財の保護と活用、国指定史跡「旧島原藩薬園跡」の管理、肥前島原松平文庫の公開・修復・マイクロフィルム化等を行った。

・文化財数 国指定5 国登録17 県指定11 市指定78

・肥前島原松平文庫 来庫者数 319人

マイクロ撮影数 325点(13, 698コマ)

・薬園跡 入場者 1,534人

・長崎県指定史跡島原城跡保存活用計画策定検討委員会を2回開催した。

○伝統的建造物群選定事業経費 2万9千円

鉄砲町重要伝統的建造物群保存地区（仮称）の選定を目指し、関係地区住民を対象に制度の周知を図った。

・関係町内会総会にて説明 20人

・関係町内会役員説明会 20人

・伝建に関する説明会 16人

○旧島原藩薬園跡整備事業費 242 万円

薬草や薬木の植え替え整備を行うとともに除草等による維持管理に努めた。

○三会原第3地区発掘調査事業 5,022 万円

開発行為対応のための埋蔵文化財発掘調査等の事業を行った。

○埋蔵文化財範囲確認調査事業経費 104 万 7 千円

開発行為対応のための埋蔵文化財発掘調査等の事業を行った。

- ・埋蔵文化財発掘調査 3 遺跡

○島原藩主深溝松平家墓所調査事業経費 1,196 万 4 千円

※平成 27 年度～30 年度の 4 ヶ年事業の中で松平家墓所の墓碑立面図を作成した。

平成 30 年度で報告書を作成予定

松平家墓所調査指導委員会を 2 回開催した。

○島原城跡整備事業経費 2,342 万 4 千円

島原城の当時の姿を復元し、歴史文化及び観光の推進を図るために行った。

- ・用地費 2,120 万円
- ・裁判所官舎解体工事 124 万 2 千円
- ・島原拘置支所職員宿舍敷地内湧水配管工事 97 万円

○公民館学級運営費 358 万 2 千円

市民の需要に応じた各種講座・学級を開設した。

- ・三会公民館学級運営費 59 万 3 千円
- ・杉谷公民館学級運営費 46 万 1 千円
- ・森岳公民館学級運営費 50 万 6 千円
- ・霊丘公民館学級運営費 56 万 3 千円
- ・白山公民館学級運営費 55 万 2 千円
- ・安中公民館学級運営費 38 万円
- ・有明公民館学級運営費 52 万 7 千円

・ 29 年度学級実績

学級名	学級数	実施回数	参加人員 (延べ)
青年教室	1 学級	4 回	22 人
女性学級	10 学級	84 回	1,764 人
家庭教育学級	7 学級	42 回	6,416 人
高齢者学級	7 学級	61 回	2,012 人
公民館自主講座	58 学級	186 回	2,452 人
合計	83 学級	377 回	12,666 人

○放課後子ども教室推進事業経費 294万3千円

- ・夏休み中に公民館において、「スクールキッズ」を開設し、自学の習慣と学力向上を図った。
7月31日～8月4日（各4日間）全7地区公民館 延べ参加人員510人
- ・市内全小中学校において、「放課後子ども学習室」を開設し、自学の習慣と学力向上を図った。
4月～3月（長期休暇中を除く）
延べ実施日数1,978日 延べ参加人員30,078人
- ・夏休み稽古館（対象は小学生）を初級・中級各8回実施。内容は論語の素読、古典の音読と鑑賞。
参加者は延べ128人

○通学合宿支援事業経費 12万4千円

子どもたちがたくましく生きる力を育むため、小学校区単位で3年生から6年生までを対象として、3泊4日の通学合宿を公民館等で実施した。

- ・実施回数 7回
- ・参加者数 122人

○地域・家庭教育力活性化推進事業費 9万7千円

地区ごとに「家庭教育学級」と中学校区ごとに「思春期子育て講座」を実施した。

- ・健康教育講座 開催数 21回 参加者 886人
（回数及び人数は、女性学級、家庭教育学級、高齢者学級の再掲）
- ・思春期子育て講座 開催数 5回 参加者 828人
（回数及び人数は、家庭教育学級の再掲）

○成人式経費 39万4千円

新成人の門出を祝い、成人式を開催した。

- ・開催日 1月3日
- ・出席者 414人

○少年センター運営経費 594万9千円

少年犯罪・非行等の未然防止のために、補導活動、相談活動、環境浄化活動を実施した。

※平成29年度実績

- ・補導件数 45件
- ・相談件数 18件
- ・白ポスト回収 353点



<島原市少年センター少年補導委員会>

款	項	目	目名	予算額(千円)	決算額(千円)	決算書の頁
10	4	2	公民館費	1億1,051万5	1億633万6	374~389

【社会教育課】

○公民館運営費 4,802万8千円

公民館の施設・設備等の保守・管理を行い、利用しやすい環境づくりを行った。

平成29年度公民館利用状況(平成29年4月~平成30年3月)

	公民館事業		各種団体		趣味・サークル		官公署他		合計	
	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数
有明	75	3,782	461	14,423	1,905	11,066	469	5,739	2,910	35,010
三会	67	2,141	250	4,855	427	3,509	273	10,320	1,017	20,825
杉谷	85	1,777	322	5,228	884	10,053	268	6,698	1,559	23,756
森岳	133	6,276	656	10,786	1,086	9,640	564	13,408	2,439	40,110
霊丘	81	2,470	375	5,933	1,192	12,777	304	5,718	1,952	26,898
白山	83	2,173	205	5,271	1,343	15,055	186	6,534	1,817	29,033
安中	50	1,242	155	2,988	515	4,796	181	5,459	901	14,485
計	574	19,861	2,424	49,484	7,352	66,896	2,245	53,876	12,595	190,117

主な施設整備

- ・安中公民館講堂東側エアコン取替工事 102万4千円
- ・森岳公民館コンクリート落下防止用ネット設置工事 59万4千円
- ・杉谷公民館調理室床等修繕 74万6千円
- ・有明公民館車庫2階外壁補修工事 96万1千円
- ・森岳公民館屋根修繕工事 29万7千円

款	項	目	目名	予算額(千円)	決算額(千円)	決算書の頁
10	4	3	図書館運営費	6,751万1	6,740万1	388~391

【社会教育課】

○図書館運営経費 6,740万1千円

島原図書館、有明図書館は、指定管理者として一般財団法人 島原市教育文化振興事業団へ管理運営を委託した。

○図書館指定管理料 5,587万9千円(図書館運営経費の再掲)

・島原図書館

開館日数	289日	登録者数	51,045人
利用者数	33,721人	貸出冊数	153,339冊
蔵書数	122,753冊	視聴覚資料	4,757点
自主事業	おはなしひろば、夏休み科学教室、手作り講座、読書感想画展を実施した。		

・有明図書館

開館日数	288日	登録者数	51,045人
利用者数	12,482人	貸出冊数	68,656冊
蔵書数	78,465冊	視聴覚資料	1,320点
自主事業	ちいさなおはなし会、ふるさと調査隊、子ども向け講座を実施した。		

施設の整備については、島原図書館においては、軒下通路・玄関滑り止め塗装、視聴覚室スピーカー取替、給水管漏水修繕、地下機械室給水管配管修繕等を行った。また、有明図書館においては、視聴用モニターを液晶テレビへ交換した。



<科学教室>



<おはなしひろば(特別編)>

款	項	目	目名	予算額(千円)	決算額(千円)	決算書の頁
10	4	4	文化会館運営費	8,556万8	8,515万9	390~393

【社会教育課】

○文化会館運営経費 8,515万9千円

島原文化会館、有明文化会館は、指定管理者として、一般財団法人 島原市教育文化振興事業団へ管理運営を委託した。

○島原文化会館 指定管理料 3,254万3千円(文化会館運営経費の再掲)

開館日数	319日
利用人数	90,771人
利用回数	985回
自主事業	こどもハンドメイド教室、クリスマスコンサート、島原早春寄席の開催

○有明文化会館 指定管理料 3,048万8千円(文化会館運営経費の再掲)

開館日数	308日
利用人数	51,525人
利用回数	1,526回
自主事業	有料映画会、ヒップホップダンス教室、フラワーアレンジメント教室の開催

施設の整備については、島原文化会館においては、屋外トイレ洋式化改修工事、舞台中割幕改修工事、スロープ改修工事等を行ったほか、デマンドコントロール装置を活用した空調運転やLED照明器具の導入等の経費削減に取り組んだ。また、有明文化会館においては、吸収冷温水機高温胴取替工事、空調機械室排水ポンプ修繕、エレベーター部品交換、外構タイルの修繕等を行った。



<屋外トイレ洋式化改修工事>



<外構タイルの修繕>

款	項	目	目名	予算額（千円）	決算額（千円）	決算書の頁
10	5	1	保健体育総務費	4,407万6	4,051万3	392～395

【学校教育課】

○学校体育の質的向上と部活動の充実費 1,049万9千円

本市児童・生徒の体力向上に向け、競技力向上（特にジュニア層）を図るため、教員の質向上と優秀指導者の確保および体育環境の充実を図った。また、県中学校総合体育大会で県の代表権を獲得した生徒が、九州、全国大会に県代表として出場している。

- ・部活動消耗器材費 828千円
- ・部活動充実費 225千円
- ・部活動運営費補助金 1,644千円
- ・島原市小学校体育大会補助金 975千円
- ・島原市中学校体育大会補助金 2,973千円
- ・長崎県中学校総合体育大会選手派遣費補助金 3,176千円
- ・中学校総合体育大会九州・全国大会派遣費補助金 678千円

○児童・生徒及び教職員の各種健康診断の実施 489万円

島原市立小・中学校における児童生徒及び職員の健康の保持増進を図るため、学校保健安全法に則り、児童生徒及び教職員の各種健康診断を実施した。

- ・児童・生徒検診（結核、心臓、蟯虫、尿、小児成人病予防） 2,663千円
- ・教職員検診（胃、結核、血液、心電図、聴力、腎臓、尿） 2,227千円

○小学校フッ化物洗口推進事業 54万9千円

う歯予防及び低減に向けて、全小学校においてフッ化物洗口を実施した。

- ・消耗品費（洗口用紙コップ代他） 209千円 （実施率）H27年度 30%
- ・医薬材料費（洗口用薬剤代） 340千円 （実施率）H28年度 100%
- （実施率）H29年度 100%

款	項	目	目名	予算額（千円）	決算額（千円）	決算書の頁
10	5	2	スポーツ振興費	2億2,155万0	2億1,862万0	394～403

【スポーツ課】

○平成新山島原学生駅伝大会 1,779万8千円

駅伝大会を島原市で開催することにより、この大会を冬の一大イベントとして定着させ、駅伝を通しての交流都市を目指し、平成新山を冠とする大会として認知度を高め、島原半島ジオパークはもとより魅力ある島原の情報を広く県内外に発信した。

参加チーム数

男子	女子	合計
32チーム	17チーム	49チーム



男子のゴール



女子の激走

○「夢の教室」公演事業 284万円

スポーツ選手とそのOB・OGが、夢を持つことの素晴らしさや夢に向かって努力することの大切さなどを子どもたちと語り合う「夢の教室」を開催することで、子どもの情操教育の充実を図った。

〈開催実績〉

開催校：9校 学級数：14学級 「夢の先生」：6名



青柳佳佑（フットサル）



越本隆志（プロボクシング）



中島浩司（プロサッカー）



坪井保菜美（新体操）



荒井美帆（ソウナースイミング）



古木克明（プロ野球）

○島原市民体育祭 284万9千円

広く市民各層の体育・スポーツの普及振興と競技力の向上を図り、あわせて市民相互の親睦融和を深め、明るく健全な郷土島原の発展に寄与するため島原市民体育祭を開催した。

出場者数

市民体育祭大運動会出場者	平成29年10月 8日	2,558人
市民体育祭各種競技会 (22 競技)	平成29年10月 1日 ※一部競技は別日程	2,094人
合計		4,652人



開会式



島原ん力自慢 (たわら長持ちくらべ)

○スポーツ大会

開催状況

区 分	期 日	対 象	参加者数
市民親睦サッカー大会	4月23日	一 般	300人
市民親睦ソフトバレー大会	7月23日	一 般	150人
少年軟式野球大会	11月18日	中 学 生	60人
少年ソフトボール大会	12月 9日	小 学 生	160人
市民親睦テニス大会	12月10日	一般・高校生	76人
市民親睦バドミントン大会	2月18日	一 般	64人
市民親睦卓球大会	2月25日	一 般	220人
市民親睦ソフトボール大会	3月18日	一 般	51人
合計	8回		1,081人



少年ソフトボール大会



市民親睦バドミントン大会

○ジュニアスポーツ振興事業 118万4千円

日本体育大学との「体育・スポーツ振興に関する協定」に伴う事業の一環として、小・中学生を日本体育大学に派遣し、トップレベルの指導者や選手から講義や実技指導を受けることにより、児童生徒の意識の高揚を図り、さらなるスポーツの振興や競技力の向上を図った。

また、青少年期における望ましい指導を、指導者を対象に日本体育大学から講師を招き講習会を行い、指導者の資質向上を図った。

〈開催実績〉

・小中学生派遣事業

研修期間	平成29年7月25日（火）～7月28日（金）
研修場所	学校法人日本体育大学（世田谷キャンパス、健志台キャンパス）
参加人数	20人

・スポーツ指導者研修会

開催期日	平成29年8月8日（火）
講師	日本体育大学助教 安達瑞保氏
対象者	スポーツ少年団指導者、中学・高校運動部活動指導者、スポーツ推進委員等
参加人数	247人
研修内容	講演「強くなる」小中学生の食事戦略～力が出せる適切な食事のとり方～



○有馬スポーツ賞 36万3千円（団体10、個人22）

・有馬スポーツ賞授賞状況

小学校		中学校		合計	
個人	団体	個人	団体	個人	団体
9人	6団体	13人	4団体	22人	10団体



〈受賞の様子〉

○島原復興アリーナほか周辺施設

指定管理者	指定管理料	主な自主事業
(一財)島原市教育文化振興事業団	4, 375万4千円	<ul style="list-style-type: none"> ・中高年はつらつ健康教室 ・大人のための初めてのバレエ教室 ・リフレッシュ健康体操教室 ・東北復興応援チャリティコンサート

・施設の整備については、アリーナトップライト漏水修繕、夏芝管理業務、オーバーシーディング業務等を行った。(1, 217万円)

○霊丘公園体育館・弓道場ほか周辺施設

指定管理者	指定管理料	主な自主事業
(一財)島原市教育文化振興事業団	4, 028万円	<ul style="list-style-type: none"> ・ジュニアバレーボール教室 ・弓道教室 ・バドミントン教室 ・卓球教室 ・ジュニア水泳教室 ・ワンポイント水泳教室 ・水中リハビリ・水中シェイプアップ教室 ・泳法研究会 ・水中ウォーキング教室

・施設の整備については、体育館・弓道場遠の場設置工事、有馬武道館外部爆裂等修繕、温水プール機械室ドア修繕、テニスコート照明器具修繕、屋内相撲場修繕等を行った。

(800万7千円)

○陸上競技場ほか周辺施設

指定管理者	指定管理料	主な自主事業
(一財)島原市教育文化振興事業団	1, 220万5千円	<ul style="list-style-type: none"> ・ジュニア陸上教室 ・ラグビー教室 ・ジュニアマラソン教室 ・みんなでウォーキング

・施設の整備については、陸上競技場用具・器具購入やテニスコート照明修繕、陸上競技場第3種公認検定に係る補修、オーバーシーディング業務等を行った。(1, 235万6千円)

○有明プール

指定管理者	指定管理料	主な自主事業
(株)しまばらウェルネッサンス	1,698万円	<ul style="list-style-type: none"> ・幼児水泳教室 ・夏休み短期教室 ・保育園健康水泳 ・高齢者生きがいつくり教室

・施設の整備については、屋根換気窓修繕、浄化槽調整ポンプ取替修繕、換気扇修繕等を行った。(847万8千円)

○平成町人工芝グラウンド

指定管理者	指定管理料	主な自主事業
(一社)長崎県サッカー協会	1,280万7千円	<ul style="list-style-type: none"> ・敬老の日無料開放 ・国体出場を目指そう ・少女サッカー教室 ・春の親子ふれあい広場 ・秋の親子ふれあい広場

・施設の整備については、クラブハウストイレ換気孔取付、JFAロングパイル人工芝ピッチ公認更新検査手数料、屋外トイレ天井修繕等を行った。(88万6千円)

款	項	目	目名	予算額(千円)	決算額(千円)	決算書の頁
10	5	3	学校給食費	1億8,005万8	1億7,879万8	404~407

【学校教育課】

○学校給食経費 1億7,879万8千円

児童・生徒の心身の健全な発達に資し、学校給食の充実を図った。また、給食費の透明化、組織・責任体制の一元化等を目的に、(一財)島原市学校給食会の設立準備を行った。

- ・学校給食業務委託料(1億1,679万円)
- ・学校給食配送業務委託料(1,328万4千円)
- ・その他委託料(587万5千円)
- ・消耗品費(679万2千円)
- ・学校給食会設立経費(340万3千円)

・安全及び衛生管理の徹底を図った。

項目	内容	実施回数
学校給食施設・設備の点検	学校薬剤師と連携し、給食施設及び設備の点検	年3回（各学期毎）
学校給食施設消毒施工	ねずみ及び衛生害虫の侵入及び発生の防止	年3回
学校給食用食材の定期点検	食材の点検及び殺菌検査	年2回（6納入業者）
学校給食従事者の健康管理	細菌等についての検便実施	毎月2回

・学校給食の充実を図るため、研修会等を行った。

研修会等名	内容	対象
学校給食献立案作成会（毎月）	献立原案について協議	栄養教諭、学校栄養職員
学校給食研究会（隔月）	食育の取組状況、献立の兼用、学校給食実施上の諸問題	給食会長、栄養教諭・学校栄養職員、給食主任

・完全給食実施状況

名称	第二小調理場	第三小調理場	共同調理場	第五小調理場	有明学校給食センター
調理数	二小 230 一中 355	三小 283 二中 186 三中 158	一小 463 四小 203 三会小 269 長貫分校 14 三会中 110	五小 314	大三東小 232 高野小 73 湯江小 226 有明中 323
合計	585	627	1,059	314	854
主食回数	米飯給食 週3回、パン給食 週2回				



<共同調理場>



<有明学校給食センター>

款	項	目	目名	予算額 (千円)	決算額 (千円)	決算書の頁
12	1	1	元金	18億7,032万5	18億7,032万5	410~411

【総務課】

○長期債元金償還金 (定期償還) 18億7,032万5千円

市債に係る元金の償還を行った。

借入先	償還額 (単位:円)
財務省理財局	641,747,394
日本郵政株式会社	207,219,252
地方公共団体金融機構	565,193,858
十八銀行	92,040,000
親和銀行	96,690,000
信金中央金庫	59,622,000
たちばな信用金庫	52,792,000
島原雲仙農業協同組合	66,666,000
市町村振興協会	65,510,000
その他	22,844,000
合計	1,870,324,504

款	項	目	目名	予算額 (千円)	決算額 (千円)	決算書の頁
12	1	2	利子	1億8,026万1	1億5,450万1	410~411

【総務課】

○長期債利子償還金 (定期償還) 1億5,443万3千円

市債に係る利子の償還を行った。

借入先	償還額 (単位:円)
財務省理財局	65,466,344
地方公共団体金融機構	63,512,227
日本郵政株式会社	8,644,118
十八銀行	4,209,318
親和銀行	4,361,694
信金中央金庫	1,674,507
たちばな信用金庫	595,596
島原雲仙農業協同組合	2,584,021
市町村振興協会	1,738,703
その他	1,646,322
合計	154,432,850

○一時借入金利子 6万8千円

現金が不足した際に借り入れた一時借入金の利子の償還を行った。